

東濃信金が移住 促進住宅ローン

22日発売

東濃信用金庫は22日から、市町村の住宅関連の助成制度に対応した「移住・定住促進住宅ローン」を発売する。

自治体の住宅支援施策と連動したローンは珍しく、10年固定では店頭表示金利より2%引き下げる。

利用できるのは、東濃5市や岐阜市、各務原市など県内20市町村と、名古屋市や愛知県内の同金庫の営業エリア内で、各自治体の定住化やリフォーム助成、空き家対策など住宅支援の補助金や奨励

金などを利用する人。年収、勤続年数を問わず、特に移住者が問題となるローン申込時の条件を緩和した。

融資利率は変動金利で店頭表示2・475%(3月)から1・750%引き下げ年0・725%、10年固定では2・0%引き下げ年0・950%とする。融資額は100万円以上1億円以内。